



京の朝ツーリズム研究会

# 京の朝型観光の提案



2016年3月  
京都商工会議所

# はじめに

“春はあけぼの。清少納言がながめた紫いろの夜明けの雲は、いまも東山にたなびく。”

これは『枕草子』をモチーフに、京都の持つ精神性を表現した京都創造者憲章の冒頭の一部です。京都の朝の魅力は、清少納言も眺めたであろう東山をはじめとする美しい自然と、人々が積み重ねてきた歴史や文化が織りなす、清々しい佇まいにあります。

京都商工会議所 観光産業特別委員会が2010年に取りまとめた「京都観光10年後への構造転換に向けての重点施策の提言」では、京都の奥深さを楽しむため滞在・連泊を促す朝型観光の充実に着目。そして京都市が2015年に策定した「京都観光振興計画2020」においても「朝型観光の推進」が施策のひとつに位置づけられています。また京都市観光協会でも「京の冬の旅／夏の旅」コースにおいて試行的に朝型観光が始動。京都の朝は新しい観光資源として注目されつつあります。

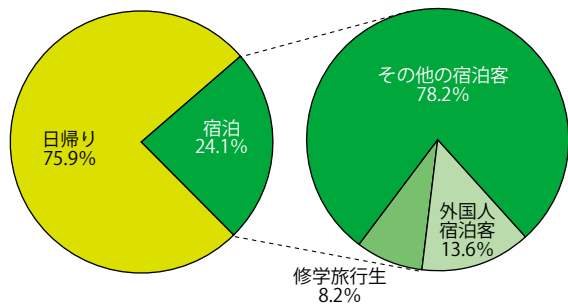
太陽の光を浴び、ゆったり深呼吸。心身に調和をもたらす京都での格別な朝の過ごし方を、提案して参ります。



# なぜ今、朝型観光なのか

昨今、インバウンドの飛躍的な伸びにより、京都市内のホテル稼働は飽和状態という指摘もありますが、旅館や閑散期のホテルなどには、まだまだ伸びしろがあります。また、観光閑散期事業として「花灯路」「京の七夕」などのライトアップイベントを開催しているものの、来場者の半数以上が日帰り客です。夜のイベントだけでは宿泊客増加にはつながらない現状をふまえると、朝型観光をプラスすることが宿泊観光への秘策だと言えます。

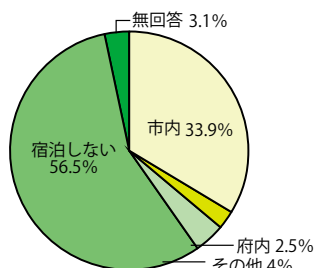
さらに奥深い京都を満喫していただくためにも、宿泊した流れで朝型観光を楽しんでもらうことが、今後の京都観光の可能性を広げていくと考えられます。



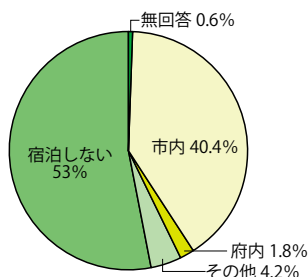
●入洛観光客のうち約4人に1人しか京都に宿泊されていません。

出典：京都観光総合調査(京都市) (平成26年・2014年)

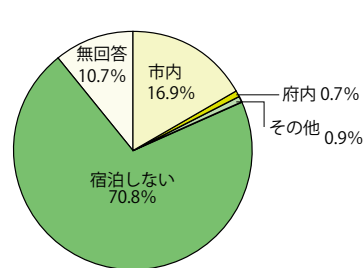
◎京都・嵐山花灯路 2015アンケートより



◎京都・東山花灯路 2015アンケートより



◎京の七夕 2015アンケートより



●花灯路の約半数、京の七夕の7割が日帰り観光客です。

## 京都の朝型観光の魅力

団体から個人へ、見る観光から体験する観光へ、非日常から日常へ。

新たな視点が求められるこれからの京都観光。多様化するニーズに応える魅力を4項目にまとめました。



いにしえ  
古の人が歌に詠んだであろう  
京都の景色を楽しむ



心地よい静寂に包まれる朝の寺社を訪問。清らかな空気の中、神仏の存在を肌で感じるような時間が、京都の思い出を色濃くする。



暮らすように楽しむ  
日常生活に入りこむ旅  
～しばし「京都人」になる～



ハレとケ、表と内。区分けし守られてきた京都の文化。その生活ぶりを見聞きし、町衆の息づかいを感じながら、暮らすように旅してみる。



あさしよく  
京都の朝食を楽しむ



朝がゆ、おぼんざい、カフェやベーカリーなど、バラエティ豊かな京の朝食でエネルギーをチャージ。



京都ならではの  
体験・学び・癒し



寺院での写経や座禅、朝茶事、サイクリングやウォーキング、京野菜の収穫体験など、さまざまな京都アクティビティに挑戦。



# 京都の朝型観光「京のあけぼのツーリズム」の提案

京都商工会議所から提案する朝型観光を「京のあけぼのツーリズム」と名付けました。「京のあけぼのツーリズム」では、多種多様な業種の企業を会員に抱える商工会議所の強みを活かし、ひと味違う内容を探求。通常は非公開な場所、京の文化人との交流、京都人しか知らないグルメ…。京都好きのツボを抑えた内容を提案します。

※写真はイメージです

## 1 京都の「<sup>あさしょく</sup>朝食」を楽しむ

### 1-1 非公開庭園見学と朝がゆの朝食 ～ご亭主のお話を楽しむ～

非公開の庭園を散策した後は、料亭のご亭主によるお話と朝がゆを楽しむ贅沢な京の朝体験



### 1-2 話題のパン屋めぐり～自然を感じながら贅沢なパン三味の朝食を楽しむ～

古都でありながら常にパン消費量で全国上位に入る京都。新しいもの好きの京都人を魅了する人気のパン屋をめぐり、京都らしいお庭を見ながらゆったりとした朝食を楽しむ



## 2 地域密着・暮らすように旅する京都を楽しむ

### 2-1 京都密着・市民の息づかいを感じる ～湯葉屋・豆腐屋の見学と朝ごはん～

湯葉、豆腐などは京料理を代表する食材。老舗の湯葉・豆腐店の見学とお話、朝食を楽しむ





## 2-2 京の農家で野菜収穫体験 ～京野菜の収穫と京民家の朝ごはん～

京都の農家で野菜収穫を体験し、京野菜を使ったおばんざいなどを楽しむ、京の日常体験



## 3 絶景スポット独り占めを楽しむ

早朝の京都タワーから楽しむ市内の眺望 ～湯ったりとぜいたくに京都を独り占め～

早朝の京都タワーの見学と360度の眺望を楽しんだ後は、地下の大浴場でリフレッシュ



### 京都の朝型観光。期待と注目度が高まっています！

#### 期待

expectation

京都通のガイドによるミニツアーを行い、人気を集めている「まいまい京都」の代表・以倉さんは、「朝の楽しみ方はまだ知られていない部分。ツアーを提案することによって楽しみ方を提示することは有効です。また、朝観光の醍醐味は『地元密着。暮らすように旅する』といったイメージ。リピーターの方にも新たな京都の魅力を提案できます」と、朝型観光への期待を語ってくださいました。



まいまい京都  
代表 以倉敬之さん

#### 注目

attention

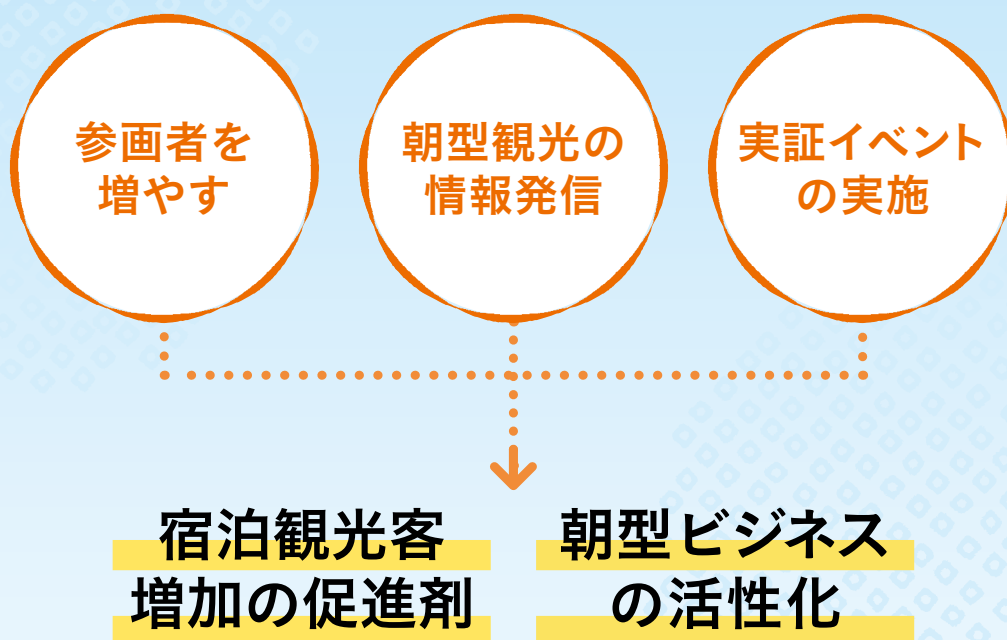
朝型観光は、すでに旅行ツアーの中にも登場しています。例えば、京都市観光協会の「京の冬の旅」「京の夏の旅」で紹介されるツアーには、昨年より、砂紋引きや座禅など朝から体験・見学ができるコースを設け、幅広い観光客のニーズに応えています。



## むすびに

“京都の朝”をメインテーマに、研究会メンバーがディスカッションを重ねて見えてきたのが、清々しい朝に未知なる観光要素が多くあるという新事実でした。今後は、朝型観光を推進していくための機運醸成や情報発信、モデル的な実証イベントを実施することで、協力的な参画者を増やしていくことが課題となってゆくでしょう。

この研究会で発掘された気づきや提案が、さらなる宿泊観光客増加の促進剤となり、朝型ビジネスの活性化につながることを願っております。



### 京の朝ツーリズム研究会

主管：本所観光産業特別委員会

メンバー：(順不同・敬称略)

座長 坂上 英彦 京都嵯峨芸術大学 芸術学部 デザイン学科 教授

奥原 恒興 京都商工会議所 専務理事

北原 茂樹 京都府旅館ホテル生活衛生同業組合 理事長 ※

齊藤 剛 日本ホテル協会京都支部 事務局長

佐藤 隆芳 一般財団法人京都ユースホステル協会 事業部長

杉本 健次 株式会社JTB西日本京都支店 取締役支店長 ※

谷川 隆 株式会社日商社 代表取締役社長 ※

中西 真也 株式会社リーフ・パブリケーションズ 代表取締役社長 ※

※印…本所観光産業特別委員会 委員

(肩書は研究会当時のもの)

事務局：京都商工会議所 産業振興部 TEL:075-212-6453 FAX:075-255-0428 E-mail:shinkou@kyo.or.jp